



【CBDCA+PMX+Atezo+Bev療法について】 (カルボプラチン+ペトレキセド+テセントリク+ベバシズマブ)



ID: _____

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
パンビタン末	葉酸を含む 総合ビタミン剤	1日1回 内服																						
テセントリク注	免疫力を高める薬	初回1時間 2回目以降30分																						
ベバシズマブ注 (アバステン注)	分子標的薬	初回1時間30分 2回目1時間 3回目以降30分																						
アロカリス注 パノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分									この週は お休みです。							この週は お休みです。						
ペトレキセド注	抗がん剤	10分																						
カルボプラチン注	抗がん剤	1時間																						

※ ペトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。



治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
自覚 症 状	食欲不振・吐き気																							
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	皮疹																							
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																						
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																								
	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																							
検 査 値	白血球減少																							
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	赤血球減少(貧血)																							
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
	血小板減少																							
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																								
肝機能低下																								
	体のだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																							

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていませんが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ● 出血(鼻血など) ● タンパク尿 ● 胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ● 傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

テセントリクの主な副作用の症状

目

- 白目が黄色くなる……………肝機能障害、肝炎 p25
- 目の充血……………重度の皮膚障害 p32
- 物が見えにくい……………下垂体機能障害 p30
- 物が二重に見える……………重症筋無力症 p31
- まぶたが腫れぼったい……………重度の皮膚障害 p32
- まぶたが下がったまま戻らない……………重症筋無力症 p31

顔

- 顔のむくみ……………血球貪食症候群 p34

胃・腸

- 吐き気、嘔吐……………肝機能障害、肝炎 p25、肺炎 p26、1型糖尿病 p27、副腎機能障害 p29、脳炎、髄膜炎 p30、腎機能障害 p32、薬剤の注入に伴う反応 p35
- 食欲がない……………肝機能障害、肝炎 p25、甲状腺機能障害 p28、副腎機能障害 p29、下垂体機能障害 p30、腎機能障害 p32、筋炎、横紋筋融解症 p33
- 腹痛……………大腸炎、重度の下痢 p25、肺炎 p26、1型糖尿病 p27、副腎機能障害 p29、血球貪食症候群 p34
- 便秘……………甲状腺機能障害 p28
- いつもより排便回数が多い……………大腸炎、重度の下痢 p25、甲状腺機能障害 p28、副腎機能障害 p29、血球貪食症候群 p34
- 便が泥状か水のように……………大腸炎、重度の下痢 p25、甲状腺機能障害 p28、副腎機能障害 p29、腎機能障害 p32、血球貪食症候群 p34
- 便に血が混じる……………大腸炎、重度の下痢 p25
- お腹が張る……………血球貪食症候群 p34

膀胱

- 尿が褐色になる……………肝機能障害、肝炎 p25
- 尿の量や回数が増える……………1型糖尿病 p27、下垂体機能障害 p30
- 尿の量が減る・増える……………腎機能障害 p32

子宮

- 月経がない……………下垂体機能障害 p30

手・足

- 物がつかみづらい……………神経障害 p31
- 注射部位のほてり、痛み……………薬剤の注入に伴う反応 p35
- 手足がピリピリしびれる、ジンジン痛む、手足の感覚がなくなる、歩行時につまづく、手足の皮膚が冷たい……………神経障害 p31
- 手足に力が入らない……………神経障害 p31、重症筋無力症 p31、筋炎、横紋筋融解症 p33
- 手足のむくみ……………心筋炎 p33

頭

- 頭痛……………下垂体機能障害 p30、脳炎、髄膜炎 p30
- 意識がはっきりしない……………1型糖尿病 p27、脳炎、髄膜炎 p30

のど

- 口が渇く、たくさんの水分が欲しくなる……………1型糖尿病 p27、下垂体機能障害 p30
- のどが痛む……………重度の皮膚障害 p32
- 食べ物がうまく飲み込めない……………重症筋無力症 p31

胸

- 息切れ、息苦しい……………間質性肺疾患 p24、重症筋無力症 p31、筋炎、横紋筋融解症 p33、心筋炎 p33
- 咳が出る……………間質性肺疾患 p24
- 動悸……………甲状腺機能障害 p28、心筋炎 p33
- 胸の痛み……………心筋炎 p33
- 乳汁分泌……………下垂体機能障害 p30

背中

- 背中の痛み……………肺炎 p26

全身

- 発熱……………間質性肺疾患 p24、肝機能障害、肝炎 p25、甲状腺機能障害 p28、脳炎、髄膜炎 p30、重度の皮膚障害 p32、腎機能障害 p32、筋炎、横紋筋融解症 p33、血球貪食症候群 p34、薬剤の注入に伴う反応 p35、発熱性好中球減少症 p35
- 気力の低下……………副腎機能障害 p29
- 体がだるい、疲れやすい……………肝機能障害、肝炎 p25、1型糖尿病 p27、甲状腺機能障害 p28、副腎機能障害 p29、下垂体機能障害 p30、腎機能障害 p32、筋炎、横紋筋融解症 p33、心筋炎 p33、血球貪食症候群 p34
- 関節痛……………腎機能障害 p32
- むくみ……………腎機能障害 p32
- 筋肉痛……………筋炎、横紋筋融解症 p33
- 体重の増減……………1型糖尿病 p27、甲状腺機能障害 p28、副腎機能障害 p29、筋炎、横紋筋融解症 p33
- 脈が遅くなる……………甲状腺機能障害 p28
- 暑がり、汗を多くかく……………甲状腺機能障害 p28
- かゆみ……………薬剤の注入に伴う反応 p35
- 皮膚が黄色くなる……………肝機能障害、肝炎 p25
- 発疹……………腎機能障害 p32、血球貪食症候群 p34、薬剤の注入に伴う反応 p35
- 水ぶくれ、皮膚・粘膜のはがれ・ただれ……………重度の皮膚障害 p32
- 関節部分もしくは広範囲にわたり皮膚が赤くなる……………重度の皮膚障害 p32
- ふるえ……………甲状腺機能障害 p28
- 血圧の低下……………副腎機能障害 p29
- 出血、血が止まりにくい……………血球貪食症候群 p34
- けいれん……………血球貪食症候群 p34

これらの症状は、併用するお薬によっても起こることがあります。併用療法でみられる副作用はp36-37をご参照ください。